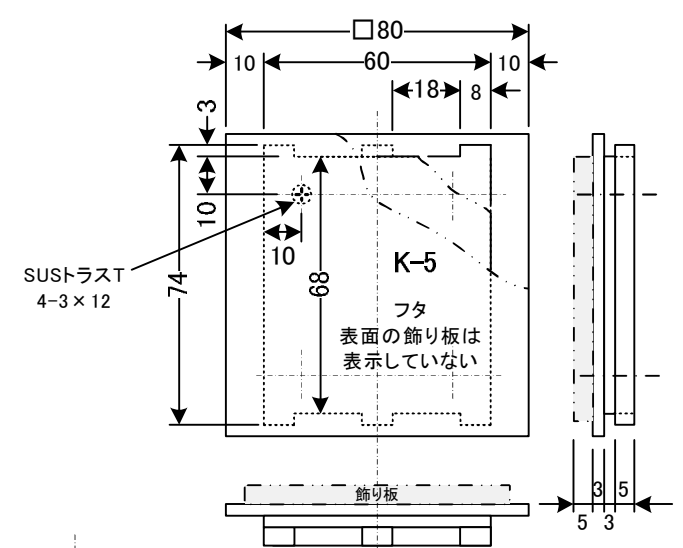
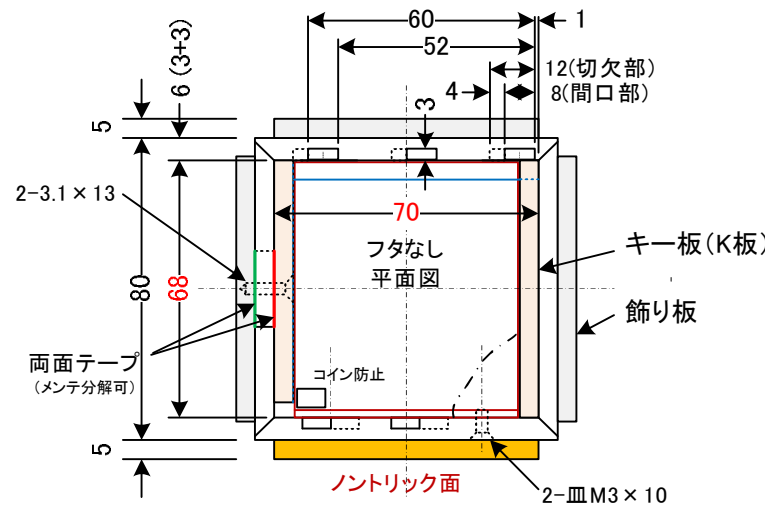
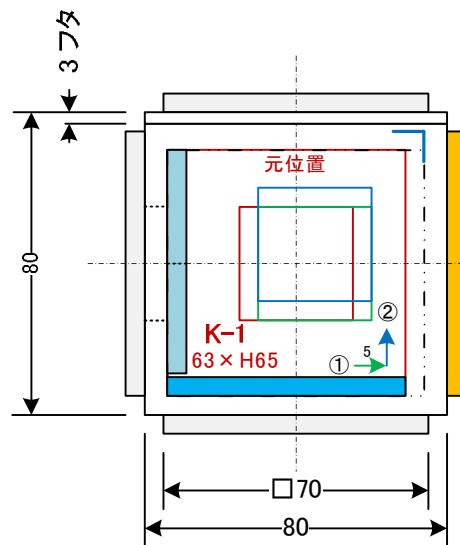


からくり貯金箱

⑩手順式

貯金箱時の穴: 3×28
(ノトリック面)

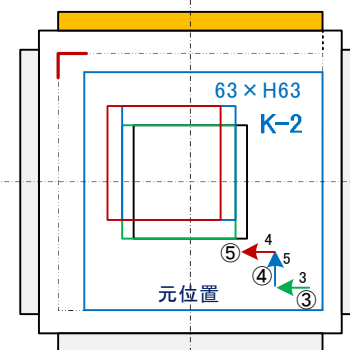


↑ 両面テープの上、ビス止め
(メンテ分解可)

遊動子、30口で設計したのに20口とミスっている。

コイン挟まり防止板(現合)
アクリル 2t(実質2.4t)

正面図
トリックなし面



底面図

メモ

- 一面(正面)のみトリック無しとし、貯金箱用の穴のみ加工する。
- ①～⑩は正解手順
- キー板は、平面図を除き全て飾り板の直裏を表示している。平面図は向こう側面を表している。
- 45度カットはソーガイドカットとし、セット設定方法を工夫する。
- トリック部品は、全て両面テープ+ビス止め式で、メンテ可能にしておくこと。
- 主材料はアガチス材 5t&3t

反省

- フタは左右対称にしたが、反転した時、合わせ目の狂いが目立つようなら、次回は方向を固定した方がよい。
- コイン挟まり防止対策として、K-3の5mm切欠は10mmに広げた方がよい。
- 遊動子は、次回設変のことで(20→30に)スライドガタ取り易い。遊動子を部品図段階で、□20に記載ミスをしている。
- K-2板の重心位置を再検討のこと(スライドに無理がかかる恐れあり)

組立順・注意など

- ① 内箱関係寸法は正確にカットし、L型2個を先組み式とすること。
- ② 内箱は、カット板の段階で、45度加工と口穴を加工のこと。
- ③ 内箱は本組後、キー板(K板)を現合製作する。
- ④ キー板と遊動子は、両面テープの上ビス止めとし、飾り板と共絞めする。
- ⑤ 最終組立後、スライドが固い時は、内部のビスを緩め、両面テープを剥がして調整可能とする。
- ⑥ 塗装は、スライド動作に影響するので要テスト、取りあえず無し。